

新規事業採択時評価結果（平成23年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・防災課  
担当課長名：三浦 真紀

事業の概要

事業名	地域高規格道路 北薩横断道路 一般国道504号 広瀬道路	事業区分	一般国道	事業主体	鹿児島県
起終点	自：鹿児島県薩摩郡さつま町 求名 至：鹿児島県薩摩郡さつま町 広瀬	延長	6.0 km		
<p><b>事業概要</b></p> <p>北薩横断道路は、北薩地域と鹿児島空港を連結し、九州縦貫自動車道や南九州西回り自動車道などと一体となって広域交通ネットワークを形成し、北薩地域の産業の活性化に資する延長約70kmの地域高規格道路である。広瀬道路は事業中である薩摩道路（延長5.0km）に接続し、さつま町を通過する延長6.0kmの自動車専用道路である。</p> <p><b>事業の目的、必要性</b></p> <p>広瀬道路は、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道504号の線形不良、幅員狭小の交通隘路区間を迂回し、緊急輸送道路としての機能を確保</li> <li>・北薩地域に対する二次救急医療施設への搬送時間短縮及び鹿児島空港や九州縦貫自動車道へのアクセス性の向上に伴う輸送効率化による産業活動の活性化に資する道路である。</li> </ul> <p>全体事業費 70億円      計画交通量 6,900台/日</p> <p><b>事業概要図</b></p>					

**関係する地方公共団体等の意見**

- ・さつま町など沿線自治体で構成される北薩空港幹線道路整備促進期成会より、北薩横断道路の早期整備について国及び鹿児島県知事あてに要望活動が積極的に行われている。
- ・平成21年11月には、北薩横断道路整備促進地方大会（約1,600人参加）が開催され、農林水産業など地元住民代表がそれぞれの立場から当該道路の必要性を訴えるアピールがなされるなど、本路線の早期整備に対する地元の要望が強い。

**学識経験者等の第三者委員会の意見**

—

**事業採択の前提条件**

便益が費用を上回っている。  
沿線自治体や地元期成会から早期整備の要望を受けており、円滑な事業執行が可能な環境が整っている。

事業評価結果

費用対便益	B/C	1.7	総費用：60億円 （事業費：56億円 維持管理費：3.7億円）	総便益：101億円 （走行時間短縮便益：67億円 走行費用減少便益：13億円 交通事故減少便益：21億円）	基準年 平成22年
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=1.8 (交通量+10%)	B/C=1.6 (交通量-10%)	
		事業費変動	B/C=1.5 (事業費+10%)	B/C=1.9 (事業費-10%)	
	事業期間変動	B/C=1.6 (事業期間+20%)	B/C=1.8 (事業期間-20%)		
事業の影響	評価項目		評価	根拠	
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	—	注目すべき影響はない。	
		事故対策	◎	死傷事故率が高い区間に対し現道の機能分担が図られ、交通安全の向上が見込まれる。 【死傷事故率】 313件/億台km（現道区間最大値） ※県内平均の死傷事故率（64.6件/億台km）の約5倍	
		歩行空間	—	注目すべき影響はない。	
	社会全体への影響	住民生活	○	2次救急医療施設（薩摩郡医師会病院）への搬送時間の短縮に寄与する。 （旧薩摩町の30分カバー人口が約2,700人増加）	
		地域経済	○	北薩地域と鹿児島空港や九州縦貫自動車道へのアクセス性が向上し、特産品であるマンゴーやいちご等の生鮮果物の空輸による出荷、生産量世界最大規模を誇るスパークプラグ等の工業製品輸送の効率化が図られ産業活動の活性化（販路拡大、出荷額の増加等）に寄与する。	
		災害	○	第二次緊急輸送道路である国道504号の交通隘路区間を迂回し、緊急輸送道路としての機能を確保する。	
環境		○	CO <sub>2</sub> 排出量の削減		
	地域社会	○	平成17年3月に市町村合併したさつま町の交流・連携を支援する。		
事業実施環境	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「かごしま未来ビジョン」において、重点的に推進する事業として位置付けられている。</li> <li>・ルート選定において地元さつま町と調整を図っており、沿線自治体からも早期整備を求める要望があるなど地元の期待も大きく、事業実施において十分な協力が得られる環境にある。</li> </ul>			

採択の理由

事業主体である鹿児島県が実施した評価に基づけば、費用対便益が1.7と便益が費用を上回っており、事業採択の前提条件が確認できる。  
また、交通安全の向上、高次医療施設への搬送時間の短縮、鹿児島空港及び九州縦貫自動車道へのアクセス性の向上による地域社会への効果が期待でき、当該事業の整備の必要性、効果は高いものと判断される。  
以上より、本事業を平成23年度新規事業箇所として採択した。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。